

2年次で校外学習を実施しました(畜産センター)。

◆今号の記事は、2年次主任の大村先生が書いてくれました。

10月19日(木)、9回生(2年次)は**キャリア教育の一環**として**茨城県畜産センター**(石岡市根小屋1234)に行ってきました。9回生は1年次の時、いろいろな職業への関心を高めるという目的で、東京都内の各施設(大手情報サービス会社の本社ビル・最高裁判所・警視庁・東京地方検察庁・外務省・東証Arrows・小学館等)やそこで働く人々を見学取材し、第2次産業と第3次産業を学ぶことができました。

2年次生になってから、職業に関するお話を聞く機会(**職業講話**)を設けたり、「かえで祭」(文化祭)において、さまざまな職業について調査・研究を行いました。今回の校外学習は、私たちの命を支え、自然と向き合う**第1次産業の大切さや素晴らしさ**に気づくこと、さまざまな職業があって、総合して社会が成り立っていることを知ってほしいと思い、企画しました。

畜産センターでは、午前中、アイスクリーム作りやバターづくりを行いました。とれたて卵と生クリーム、**牛乳**からつくったアイスクリームやバターは、市販のものとは全く味が違い、とてもおいしいという言葉が多く聞かれました。牛舎で**ホルスタイン**を見たり、施設を見学したりし、畜産への興味や理解が深まったようです。

午後は、**獣医師さん**から、牛の人工授精技術や畜産センターでの獣医師の仕事についての講義を全員で聞きました。畜産センターの研究者は**ブランド力強化**を支える新品種をつくり出したり、新技術の開発したりなど、酪農家がより良い仕事をしていくために、日々研究に励んでいることが分かりました。講義後に質問の時間がありましたが、獣医師さんが**驚くほど多くの質問**をし、ここでもまさに「**アクティブラーナー(能動的学習者)**」の姿でした。

